

2022年度 新潟産業大学 春学期「聴講講座」のご案内

新潟産業大学の「聴講講座」は、一般の方々が年齢や学歴等に関係なく、学生たちと一緒に大学の授業を受けることができる制度です。

試験や成績評価はありません。気楽に楽しく受講してください。
(単位修得ご希望の方は「科目等履修生」制度をご利用下さい。)



申込み期間 4月13日(水)～4月19日(火)

ただし【語学系講座(講座名の先頭に★がある講座)】は、4月6日(水)～4月12日(火)に事前にお申込みください。

申込み窓口 新潟産業大学教務課/地域連携センター ※各日 9:00～17:00

* 申込書に所定項目のご記入をお願いします。

* 個人情報、受講者管理および講座資料送付以外の目的には利用しません。

受講料 1科目(全14～15回予定):10,000円(消費税込み)

* 本学で証紙を購入して申込書に添付してください。

* 手続き完了後、「受講証」をお渡します。

* 正規学生の履修登録者が3名未満の講座は不開講となります。

※新型コロナウイルス感染の状況によっては、**オンライン授業に切り替わる場合があります。**
その場合は、聴講講座についても、オンラインで聴講していただきます。
(お手持ちのパソコンやスマートフォンをご利用いただき、原則ご自宅での受講となります。)
なお、オンライン授業での聴講を希望されない場合でも、**受講料の返金は出来ませんので、**
あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

授業開始日 4月6日(水)原則週1回

* 授業開始第2週目まで「受講証」なし(無料)で聴講できます。

教室等の情報は教務課窓口でお聞きください。

* 本冊子最終ページ「授業日カレンダー」も参照ください。

休講日	*4月29日(金)、5月3日(火)、5月4日(水)、5月5日(木)、7月18日(月)
祝日授業日	*なし
補講日	*7月27日(水)、7月28日(木)

その他

・テキストは各自ご用意下さい。本学売店で購入(火～金 10:30～13:30)できます。

・休講や教室変更等のご連絡は学内の掲示板で行いますので、来校時に必ず確認してください。

(個別連絡もいたします。)

・講座ごとに4分の3以上出席された方には「修了証」を発行します。

・本学「聴講講座」は新潟県教育委員会が主催する「いきいき県民カレッジ」の講座として参加しています。

・新型コロナウイルス感染防止の観点から図書館利用は聴講生のみ可となります。聴講生以外の一般の方はご利用いただけません。ご理解とご協力をお願いいたします。

【コロナウイルス感染の予防対策について】

- ・各教室に消毒液を設置
- ・座席は1席空けて着席
- ・定期的な換気を実施
- ・不要な会話は厳禁
- ・不織布マスクの着用、検温の徹底
- ・その他、学内施設使用にかかる感染対策を徹底 等

お問い合わせ先:新潟産業大学教務課/地域連携センター

Tel:0257-24-8441 e-mail:kyoumu@ada.nsu.ac.jp

聴講講座一覧

教養 語学系

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
1	★韓国語会話A (月2) 金光林	15	韓国語の基礎を復習・応用しながら、中級程度の韓国語を学び、バラエティーのある練習を通して、話す・聞く・読む・書く能力がバランスよく上達を目指す。授業においては、韓国のドラマ・音楽を通じた韓国語の勉強も行う予定。	【テキスト】：韓国語教育開発研究院著『美しい韓国語』1-1（美しい韓国語学校、2010年）、中古教材使用。
2	★英会話A (火2) モルト ジェリーアレン	15	いろいろな仕事で基本となる英語の構成をマスターすることを目的とする。	An A to Z of Common English Errors for Japanese Learners (Japanese Edition) BTB Press David Barke rISBN 978-4-9904151-5-0
3	★英語表現A (a) (火2) 沼岡 努	15	英語の基礎文法をもとに短い会話表現を使いこなせるよう練習する。暗唱小テストを3回行う。	Kiyoshi Yukitoki and Anthony Parker, Parker, First Time Traveling Abroad (松柏社) ¥2,090
4	★英語表現A (b) (火2) 黒川 敬三	15	基本的な文法事項を確認しながら、よく使われる会話表現を学ぶ。ユニット終了ごとに小テストを行う。	水島孝司、ロジャー・パティモア『大学生のためのコミュニケーション英文法』南雲堂、2,000円
5	★基礎韓国語A (火2) 金光林	15	この授業を通して、韓国語の文字と発音を習得し、簡単な会話ができ、比較的簡単な文章が読めるし、書けることを目指す。授業においては、適宜に韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定である。語学の授業であるため、受講者には単に講義を聞くという姿勢ではなく、毎回の授業に韓国語を必ず「読む」「書く」「話す」という積極性を求めたい。勉強効果を上げるため、小テスト、または練習を積極的に行い、定期的な宿題を課す予定である。	【テキスト】：金 慰模 等著『かんたん！韓国語』（朝日出版社、2013年）、2,300円＋税
6	★基礎中国語A (火2) 詹 秀娟	15	本授業は初心者を対象に中国語の基礎能力を養成する授業である。声調からスタートして中国語の発音、語彙、文法、会話などの基礎を身につけることに重点を置く。同じ漢字でも中国語と日本語は意味が全く違うのも沢山あります。例えば「大家」は中国語では「みんな」を意味し、「看病」は「診察を受ける」となる。中国語は決して難しくなく中国語の面白さを学ぶ。	『しゃべっていいとも中国語』 陳淑梅・劉光 赤 著朝日出版社、本体2,300円＋税 CD付
7	★中国語会話A (火3) 詹 秀娟	15	本授業は中国語の日常会話を中心に、「聴く」、「話す」に重点を置きながら初級から中級へのレベルアップにつながる会話表現能力の習得を中心にして進めていく。	『話そう！実践中国語』 宮本大輔・温琳朝日出版社 2200円＋税 CD付
8	★中国語演習A (火4) 詹 秀娟	15	中国語の基礎と文法を習得し、多様な文体に対応するため、文章の読み方、長文の読解力と文脈の全体像把握に習熟することを目的とする。この授業を通して、最新中国事情をより深く理解することができる。	『時事中国語の教科書 2022年度版』——双循？ 三 瀨正道ほか朝日出版社 2090円（本体1900円＋税）CD付
9	★英語講読A (a) (水1) 黒川 敬三	15	基本的な文法事項の確認と語彙の増強を図りつつ、英語を読む力の向上を目標とする。	石谷由美子『構造で読む英文エッセイ〈上級編〉』南雲堂、2,200円
10	★英語講読A (b) (水1) 沼岡 努	15	基本的な文法事項を確認しながら比較的平易な英文を読む。英文を正確に読解できる力をつける。徐々にスピードをあげて多くの章を消化したい。	Brian Powle and Kenneth Kendrick, What a Story! (南雲堂) ¥1,540

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
11	★基礎韓国語会話A (水1) 蓮池 薫	15	韓国語の正しい発音と読み方、書き方を覚える。韓国語は日本語と文法がとても似ている反面、微妙な違いがある。その点を踏まえて、基礎をしっかりと築くことを目標とする。そのために教材にそって文字と発音をじっくり習得したうえで、あいさつや簡単な文型を身につけていく。	木内明 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』改訂版 国書刊行会 ¥2,100
12	★基礎中国語会話A (木3) 詹 秀娟	15	本授業は初心者を対象に基礎中国語の会話能力を養成する授業である。基礎中国語Aに加えて、さらに中国語の力をつけるための授業である。基礎中国語Aとも併用履修しながら、応用編として「聴く」、「話す」に重点を置き、レベルアップにつながる中国語の表現能力の習得を中心にして進める。言葉を学ぶのと同時に、各課のコラムが中国文化を理解することもできます。中国語は決して難しくなく、中国語の面白さを学ぶ。	改訂版『話してみよう！中国語』 宮本大輔・温琳駿河台出版社 ¥2,200 CD付
13	★韓国語演習A (金3) 蓮池 薫	15	初級程度の韓国語を習得した学生を対象に初級の最終段階から中級の初めの段階に至る韓国語をしっかり身につける。検定試験のための指導練習も行い、ハングル能力検定4・3級の合格を目指すようにする。	木内明 『基礎から学ぶ韓国語 中級』改訂版 国書刊行会 ¥2,100 その他プリント

教養 自然科学・体育系

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
14	ヘルスサイエンス (日) (木4) 佐々木 洋輔	15	講義前半は、「ヘルス/健康」について説明し、健康維持のための基礎知識や、身体の構造と機能を学ぶ。講義後半は、ストレスや生活習慣、性や加齢、運動といった要素が健康に及ぼす影響について学ぶ。個人が生涯にわたって健康に生きることや、そのような人が増える社会づくりをテーマとし、講義を展開する。	なし
15	環境科学 (金3) 絹川 ゲニイ	15	私たちを取り巻く環境の中で、現在深刻化している種々の環境問題（地球温暖化、大気汚染、水質汚染、分解されにくい物質による汚染など）、エネルギー問題の概要と対策などを、自然科学の立場からできる限り平易に解説する。	鈴木孝弘、新しい環境科学（環境問題の基礎知識をマスターする）、改訂2版、駿河台出版社、2014年

教養 社会科学系

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
16	社会学 (金1) 梅澤 精	15	私たちは家族に生まれ育てられ、家族が住んでいる地域社会で暮らし、そこから学校に通い、職場で仕事をし、年老いてまた家族や地域社会に戻っていく。そしてこれら家族・地域社会・学校・職場は大きな「社会」（日本社会やグローバル社会）の中であって、その影響を受けている。この講義では、社会学の基礎である「社会的行為」や「社会関係」、「集団」などの社会学の基礎概念を学んだ後、「家族」と「組織体」（学校や職場の集団）に焦点を定め、今日の日本における私たちの生活を明らかにしていく。つねに自分との関係を考えながら受講することが望ましい。	テキスト：なし 参考文献：講義において適宜指示

教養 人文学系

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
17	哲学 (月3) 渡辺 信也	15	「心の哲学」…本学の教育理念「主体的自我の確立」に鑑み、「自我・自己・心とは何か」という哲学上の根本問題を主題的に論究する。本講義では、狭義の「哲学」に限らず、自我・自己・心を巡る古今東西の科学・宗教思想等にも幅広く言及し、これらを比較検討することを通して、聴講者自身の哲学的思索を促し、その主体的自我の確立を目指す。	講義中に配付するプリントで代用する。参考書は講義中に紹介する。
18	韓国文化事情 (月4) 蓮池 薫	15	韓国の文化と社会についての基礎知識を最新情報も交えながら紹介することで、隣国であり、また日本と密接な関係のある韓国およびそこに住む人たちのことを知り、韓国人との接しかたのヒントを得ることで国際化の時代にふさわしいコミュニケーション能力を身につけるきっかけにする。授業ごとのテーマについて問題意識を高めるために、アクティブラーニングを取り入れた授業である。	おもにプリント資料を配付。
19	東洋史 (月4) 金 光林	15	「東アジアの歴史・文明・自然・環境」をテーマに講義を行うことによって、東アジア地域に対する理解を深め、相互理解と交流に基づくアジア共同体及びユーラシア共同体の実現に向けた環境作りを目指したい。この「東洋史」の授業は今年度にユーラシア財団 from Asiaの助成事業として開講されるので、日本の国内外から多彩な講師を迎えて、受講生たちが統合的な地域として東アジアの歴史・文明・自然・環境について幅広く学べるようにし、真の意味での未来志向的な歴史観の形成に役立てたい。毎回の授業の最後には、簡単な課題、または短い感想文を書いてもらう。	【テキスト】：プリント資料使用。【参考図書】：(1) ラインハルト・ツェルナー著、植原 久美子訳『東アジアの歴史その構築』（明石書店、2009年）2,800円、(2) 田中俊明著監修『日本・中国・朝鮮東アジア三国史』（日本実業出版社、2010年）1,800円
20	西洋の芸術 (火3) 梅比良 眞史	15	文化史のなかでも美術史は最重要なものの一つである。西洋美術史の主流をなす絵画を中心に、各時代の主要作品を取りあげる。授業毎にそのトピックについての短文を提出してもらう。	【テキスト】 高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』、美術出版社、1,900（本体）
21	地誌 (火4) 沼岡 努	15	地球の表面は実に多様である。気候、地形、植生などの自然環境と人々の生活、文化、社会、経済を形成する人間活動が複雑に作用し合っている。身近な地域から地球全体にいたるまで、この多様で複雑な現実を「総合的に」理解することの意義は大きい。地誌学は小規模地域から地球全体まで様々なスケールで特定地域の姿をあらゆる角度から「総合的に」探究する学問分野である。講義では特に世界に目を向け、いくつかの地域の姿を多面的に描き出したい。	使用しない。講義用ノートを用意しておくこと。
22	日本文化論 (火4) 小林 健彦	15	この講義では、日記・古記録史料を使って、日本の古代より中世にかけてのさまざまな文化的な社会事象を読み取り、理解し学習を行なう。	テキストは、小林健彦著『日本語と日本文化基層論～人名、人格化、そして、うわさの文化～』（電子書籍製本版、データ版）を使用する（購入方法は授業中に指示する）。参考書は、斎木一馬編著『古記録学概論』吉川弘文館刊2,200円（税別）。

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
23	自然地理学Ⅰ (水2) 沼岡 努	15	自然地理学は、人間の居住地としての地球表面を対象として、自然地理的事象について研究する科学である。この場合、自然地理的事象とは人間生活に関係がある自然現象を意味する。本講義では、こうした観点から様々な自然地理的事象について具体例を通して見ていく。	なし。プリント等は講義を進める中で必要に応じて配布する。
24	世界史概論(代:沼岡)/蒼原 (木2) 沼岡 努	15	本講義は、世界史を多角的にみることによって広範な知識を習得することを目的とする。ヨーロッパ世界では中世封建社会から近代国家の成立と発展に焦点を当てる。また、近現代史では、帝国主義から世界大戦前後の時代までを取り上げる。アジア世界では、モンゴル学を中心に講義を行う。モンゴル帝国はアジア地域だけではなく、ヨーロッパ諸国に対しても深い影響を与え、東西の文化交流に重要な役割を果たした。この講義では、日本、モンゴル、中国で保存されている貴重な映像資料を見ながら進める。	授業中に適宜指示します。
25	異文化コミュニケーション (木3) 蒼原 烏瑠吉	15	異文化コミュニケーションとは性別・年齢・職業・出身地・社会的地位など自分とは異なる価値観や環境の相手とのコミュニケーションを意味する。異文化コミュニケーションと聞くと、多くの方が海外をイメージし、外国人とのコミュニケーションを思い浮かべるかと思うが、異文化コミュニケーションとは外国人とのコミュニケーションに限ったものではなく、日本人同士においても同じく言える。本講義ではこれらのことについて理解を深めていく。	授業時にプリント等を適宜配布する。
26	中国文化事情 (木4) 詹 秀娟	15	日本と中国は、地理的には「一衣帯水」と言われるように海一つ隔てて向かい合う隣国である。その一方で「近くて遠い国」と思われている。この「似て非なる国」と言われる中国、この授業を通じて、中国・台湾の歴史、文化、社会全般にも理解を深めていく。講義では、中国・台湾に関する歴史・文化・社会・風俗・習慣・現代事情等を幅広く題材に取り上げる。中国・台湾の社会と文化をより深く理解する。	テキストは特に指定しません。パワーポイントや映像などを活用する予定です。プリントを配付します。参考文献：『最新中国がわかる本』『台湾を知るための60章』
27	文学 (木4) 梅比良 眞史	15	「文学」と呼ばれている小説、つまり「純文学」と、一般的には「文学」と見なされていない小説を同列に扱うことによって、日本の「文学」の特異性を検討し、その「聖性」を相対化する作業を行う。具体的には「芥川賞/直木賞」という制度によって今なお維持されている日本の「文学」を、とくに70年代末からの日本の文学シーンについて検討する。また文学を理解する上で必要な、散文と韻文などの基本的な概念、あるいは文学のジャンルについても学ぶ。毎回、そのときどきのトピックについて自分の意見を書いて提出してもらう。	【テキスト】佐々木 敦『ニッポンの文学』、講談社現代新書860円(本体)
28	日本史Ⅰ (金1) 小林 健彦	15	この講義では、対外交渉史の学習を行なう。現在の北陸、新潟地方を窓口とした韓半島・朝鮮半島、中国大陸との政治、文化的な交流の様相を解明していく。	小林健彦著『韓半島と越国 ~なぜ渡来人は命がけで日本へやって来たのか~』(電子書籍製本版、データ版)を使用する。インターネットを通じて購入する。購入方法の詳細は初回授業時に説明する。
29	教養演習A (金2) 蒼原 烏瑠吉	15	本講義では、前半はモンゴル語の母音、子音を中心に、後半は文学作品(主に民話)を取り上げて解説、そしてその作品が書かれた歴史背景、生活習慣、日本文化の相違を比較しながら進めていくことを目的とする。	参考書：南雲智編訳『内モンゴル民話集』論創社2,100

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
30	日本の芸術 (金2) 片岡 直樹	15	奈良～江戸時代の日本美術を概観する。平安貴族の生活を色鮮やかに描き出した「源氏物語絵巻」、庶民が生んだ庶民のための「浮世絵」など、日本美術の美しさ、おもしろさを味わってほしい。	テキストは用いず、毎回プリントを配付します。参考文献は青柳正規ほか『日本美術史』（美術出版社、1991年）のほか多くある。その他の参考文献は第1回の授業で紹介いたします。

専門 経済系

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
31	統計学Ⅱ (月1) 橋本 次郎	15	推測統計学の基本を学ぶ。前半は確率分布の基礎を、その上で標本平均の分布を学ぶ。後半は母集団の平均の推定と検定を中心に、統計的分析結果の見方・考え方の基本を学ぶ。	【テキスト】鳥居泰彦 著『はじめての統計学』日本経済新聞社2,233円＋税
32	簿記Ⅰ (月2) 土田 茂博	15	小さな会社の経理実務に役立つ簿記知識を養う。日本商工会議所簿記検定3級の範囲で勉強する。	『サクッとわかる 日商3級テキスト』ネットスクール株式会社 出版 『サクッとわかる 日商3級トレーニング』ネットスクール株式会社 出版
33	経営品質 (月3) 五味 由紀子	15	本講義は、顧客の視点から経営を見直し、自己革新を通じて顧客の求める価値を創造し続ける組織の考え方を学ぶとともに、自分も成長し続けるための考え方を学び・気づき・実践できるよう、体験・体感する内容を主とする。前半は理想的な姿を実現するために取り組んでいる組織について学習し、後半は社会や組織から求められる“人間力”や“論理的な考え方・話し方”を、アクティブラーニング形式で楽しく磨く。各人からプレゼンをしてもらう。	随時、資料を配付
34	基礎ミクロ経済学 (b) (火1) 江口 潜	15	ミクロ経済学とはどのような内容なのか、など、初めてミクロ経済学に接する方向けに平易にミクロ経済学について解説を行う。	現在検討中（決定後学内に掲示）。なお必要な授業資料は産大ホームページ内の http://www.nsu.ac.jp/official/fa/eguchi/index.html というページで閲覧およびダウンロード可能（なので指示に応じて各自ダウンロードすること）
35	ビジネス演習 (火2) 安達 明久	15	地域の発展のためには、地域の課題を発見し、その解決策を提示し、自らリスクに挑戦する事を厭わない「起業家」を育成することが非常に重要な課題となっている。本科目では、前半部分でビジネスプランの作成に必要な基礎知識を修得するとともに、後半においては、仮想事例を想定して、実際に「創業計画書」を各受講生が策定・発表することを通じて、起業に関する実践的知識とノウハウの習得を目指す。特に、後半の実践編においては、地元若手経営者や専門家を招き、特別講義や、創業計画書策定にあたってのアドバイス、最終案に対する評価を受けるセッションを設ける予定である。	【テキスト】なし【参考書】HRInstitute 著、野口吉昭 編集『ビジネスプラン・シナリオ作成術』かんき出版1,980

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
36	ゲーム理論 (火3) 江口 潜	15	ゲーム理論とは、さまざまな主体（私、とか、我が社、などなど）がお互いに自分が大事（つまり私や我が社が大事）で、自分にとって一番望ましいと思う状態になるように何か行動をしようとし合う（すなわち合理的に、自分にとって一番いい道を選ぼうとしあう）結果そこにどのような状態や結果が生まれるかということ进行分析する学問で、現在では、経済学だけではなく政治学・社会学・心理学・生物学といった「人どうし、会社どうし、国どうし」などの関係を分析する共通理論である。本講義では、そのようなゲーム理論の魅力や本質について教科書に基づいて解説する。	【テキスト】神戸伸輔著『入門ゲーム理論と情報の経済学』日本評論社¥2,500+税【参考図書】松島斉著『ゲーム理論はアート』日本評論社¥2,000+税
37	原価計算論Ⅰ (火3) 山崎 一輝	15	コストを抑えることは企業にとって収益性や生産性という点で重要であるが、品質や在庫や納期などとトレードオフの関係でとらえる必要もある。原価計算の基本をマスターしながら、原価概念の多様性や製造間接費の配賦の考え方を学ぶ。	【テキスト】滝澤 ななみ『スッキリわかる 日商簿記2級 工業簿記』TAC出版 1,540
38	基礎ミクロ経済学 (a) (火3) 阿部 雅明	15	この講義では、経済学の2本柱であるミクロ経済学とマクロ経済学のうち、ミクロ経済学の入門的な講義を行なう。ミクロ経済学は、経済主体（消費者や生産者）の行動に焦点を当て分析する学問である。	【テキスト】ティモシー・テイラー(著)、池上彰(監訳)、高橋璃子(翻訳)『経済学入門ミクロ編』、かんき出版1,650円
39	経済成長論 (水1) 青木 隆明	15	マクロ経済学の中で発展してきた代表的な経済成長理論モデル、例えばハロッド・ドーマー・モデル、ソロー・スワン・モデルなど、その代表的なモデルの動学メカニズムと含意について説明する。また、技術開発、出生数などの変数を内生化した内生的成長モデルについて考える。さらに、経済成長のメカニズムの中で、いわゆるバブル経済、貧困の罠などの経済現象を考えるとともに、国際貿易、(国際)資産・資本市場の下での経済成長、金融危機、貧困国の問題、そして今後の日本そして世界のあり方や、国の豊かさ生活の豊かさとは何かを考えていくきっかけとする。	特にテキスト(教科書)は指定しない。講義用レジュメおよび補足資料を適宜配布する。参考書については授業初回に紹介する。
40	ミクロ経済学Ⅰ (水1) 阿部 雅明	15	この講義では、基礎ミクロ経済学で学んだ内容をより深く、広く講義する。具体的には、消費者の効用最大化行動や企業の利潤最大化行動を簡単な微分を使用し分析する方法を学ぶ。以上を通じて、需要曲線と供給曲線の成り立ちを詳しく解説する。	『政治経済学』石橋一雄他、成文堂3,000円+税
41	管理会計論 (水2) 山崎 一輝	15	管理会計とは、広範な会計領域の中で、とくに経営管理者の立場から、意思決定や業績評価に重点を置く会計をいう。経営管理に有用であることが何よりも求められている。利益や資金が高水準であれば、会社は発展し、悪化すれば倒産リスクが高まる。簡単そうに見えるが利益が高水準であれば資金状況がよくなるということでもないという一面もある。切実な問題なのに結構難しいし、おもしろい面があるということから学んでいく。	プリント配付予定
42	開発経済学 (水2) 阿部 雅明	15	開発経済学というと、一般的には発展途上国の開発問題等を取り上げるが、本講義では、発展途上国のみならず先進工業国を含めた国々においての、地球環境問題に配慮した今後の経済開発のあり方について講義する。その中で、従来型の経済開発の限界を概観し、その後、長期的に持続可能な経済システムについて説明する。	初回授業で指示します。

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
43	基礎会計学 (水2) 田中 久夫	15	会計学の入門講座として、会計学の基本原理とその歴史やトピックスを学ぶ。企業会計の歴史、企業(会社)の成立史、株式制度の誕生、証券市場の発展などの企業会計の背景を学び、これまでの伝統的な会計理論の基本原理を理解して、財務諸表の意義や作成原理を学ぶ。授業は簿記の初学者でも理解できる内容であることを心がけていく。	テキスト:『会計ライセンスへのパスポート 会計学入門』田中 薫著 泉文堂 (ISBN978-4-7930-0469-8C3034)
44	財務諸表論 (水3) 田中 久夫	15	企業の経営環境の変化に相応して、企業経営の複雑化、競争の激化、専門化、多様化、国際化は避けて通れない事実である。こういった環境下において「会計」は極めて重要な経営ツールとなっている。企業を取り巻く各種の利害関係者は、その意思決定指針として企業が発信する会計情報に注目し、自らの意思決定に役立てている。特にここ数年来の新しい会計制度改革は経営判断にドラスティックに影響し、国際会計基準などの動向はさらに複雑かつタイムリーな意思決定を求めている。「財務諸表論」においては、これらの変化に対応できるよう会計がどのような仕組みと思考で構成されているかを学ぶ。	テキスト:『パワーポイントによる論点学習 会計学』田中久夫監修・田中 薫著 税務経理協会 (ISBN978-4-419-06833-2)
45	人的資源管理論 (水3) 大石 友子	15	本講義では、行動科学や人的資本論の影響のもとに発展した人間を経営の重要な資源と捉える人事労務管理の考え方や社会や企業の変化に伴う新しいアプローチについて学習する。	毎回レジュメを配布する。必要に応じて資料プリントを配付する。
46	ミクロ経済学演習 (水3) 江口 潜	15	この授業では公務員試験などを念頭に、ミクロ経済学の「計算問題」の演習を行う。授業は「教師による説明→教室でやってみる→発展問題は宿題に」の繰り返しで行う。	【参考書】茂木喜久雄著 新らくらくミクロ・マクロ経済学入門計算問題編、洋泉社2,200円+税
47	経営組織論 (木1) 高橋 成夫	15	本講義では、企業の実体としての組織形態の発展を踏まえ、今日的な問題を取り上げて、今後の組織のあり方を検討していく。経営学検定の出願範囲にも対応。	佐久間信夫・坪井順一編 『現代経営組織論の基礎』学文社 2,600+税
48	経済分析のための数学 (木1) 青木 隆明	15	経済学の理解に必要な数学的知識をしっかりと身に着ける。各講義の終わりに演習問題(宿題)を配布する。具体的には、微分・偏微分、線形代数、確率・統計の各分野の基礎知識を習得するとともに、特に経済学への応用例として、企業の生産行動、家計の消費行動、需要と供給、債券の価格付け、回帰分析(特に最小二乗法)などを紹介する。	特にテキスト(教科書)は指定しません。講義用レジュメおよび演習問題を適宜配布します。
49	マクロ経済学 I (木1) 黒岩 直	15	この授業では、マクロ経済学を体系的に学んでいく。マクロ経済学は、経済を大きくとらえ、全体的な経済の動きやつながりを読み解いていく学問である。この授業ではまず、基本的なGDPなどの概念の理解から始め、三面等価の法則や、生産・所得の決定などを学んでいく。また現在の日本でもよく話題になるインフレ・デフレなどの問題や、失業問題などのトピック、さらには金融と世界経済など、現実の経済からも題材を募りながら、講義を行う予定である。	配布するプリント・レジュメ類を中心に授業を行う。【参考文献】伊藤元重『マクロ経済学』第2版、日本評論社3,080円
50	商品開発論 (木2) 大石 友子	15	商品開発は経済社会の変化とともに企業が変化する大きな要素となり、競争力と成長力に繋がる。グローバル化、情報化が進む社会で消費者のニーズの変化も速くなっており、いかにシーズを生かした開発をしていくか、良いと思われる商品を開発しても売れない場合は何が問題か等を学んでいく。経営戦略論、組織論、マーケティング論等の基礎知識を繋げ、新商品開発のために必要な知識を学習する。	テキスト:なし 参考文献:グロービス「MBAマーケティング」(グロービス大学院 2019)ロバート・B・チャルディーニ「影響力の武器」(誠心書房 1991)その他、必要に応じて適宜指示する。毎回レジュメプリント配布。

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
51	労働経済学 (木2) 江口 潜	15	労働経済学全般について講義する。内容はミクロ経済学における労働、および労働需要、労働供給、労働とモラルハザードあるいは逆選抜、長期雇用と年功賃金の理由、などの内容で、それらを教科書に基づきながら説明していく。	川口大司著『労働経済学理論と実証をつなぐ』有斐閣2017年2,800円+税
52	中小企業論 (金1) 安達 明久	15	日本経済のなかで中小企業が果たす役割は非常に大きい。中小企業は、一見すると大企業と比較して見劣りする弱い存在の様に思われがちである。しかし、中小企業は、大企業にはない独自の強味を本来的に有しており、その力と特徴を発揮することで日本経済に貢献することを強く期待されている存在である。本科目では、このような観点から、中小企業の機能、役割等に関する基礎知識（イノベーション、グローバル化等）を解説するとともに、中小企業がこのような役割を果たすために必要となる中小企業特有のマネジメント上の課題（オーナー経営、事業承継等）について、経営学と法学の観点から具体的な事例を交えつつ説明を行う。	【テキスト】毎回授業前に講義資料等をWEB上に掲載する【参考書】安達明久ほか共著『理論と実践 中小企業のマネジメント』中央経済社¥3,300
53	経済学史 (金1) 吉田 昌幸	15	本講義では、経済学の歴史をふりかえることで経済学と資本主義経済の共進化について考えていく。また、様々な経済学者の議論を通じて資本主義経済の在り方についても考察していく。講義を通じて、経済学という学問それ自体がどのように形成され、今後どのように進化していくのかについて考える。	【テキスト】江頭進(2015)『はじめての人のための経済学史』新世社2,100円+税 【参考文献】井上義朗(2004)『コア・テキスト 経済学史』新世社2,100円+税、中村隆之(2018)『はじめての経済思想史』講談社現代新書840円+税
54	金融論 (金2) 黒岩 直	15	金融は経済を支える重要な仕組みの一つであるが、その一方でイメージの湧きにくい分野でもあるといえる。この授業では、金融についてあまり学習したことのない方でも理解しやすいように、基礎的なトピックを丁寧に説明しながら、講義を進めていく予定である。国債や株式などの金融商品、それらを取引する資産市場の仕組みや役割、株価や利子率、金融政策の効果などを、経済理論を使いながら解説する。	基本的には毎回配布するプリントを中心に授業を行う。ただし重要な参考図書は初回に紹介するので手元に用意することが望ましい。例えば、【参考図書】家森信善『金融論(第3版)』中央経済社、¥2420
55	簿記Ⅲ (金2) 山崎 一輝	15	簿記の基礎的能力を有する学生を対象として、より実践的知識と処理能力を修得することを目的とする。	【テキスト】滝澤 ななみ『スッキリわかる 日商簿記2級 商業簿記』TAC出版 1,540
56	会社法Ⅰ (金2) 吉田 昌幸	15	企業とは何か、会社とは何か、会社の諸形態、会社の機能、及び、株式会社の機関について解説する。	テキスト：伊藤靖史・大杉謙一・田中亘・松井秀征『会社法 第4版』有斐閣2,900円+税 他は適宜指示する。
57	経営戦略論 (金3) 高橋 成夫	15	本講義では、経営戦略について、その意義、内容、代表的理論を通して、今後の経営戦略のあり方について検討する。経営学検定の出題範囲にも対応。	吉村孝司編『経営戦略：企業戦略と競争戦略』学文社 2,400+税

専門 文化経済系

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
58	非営利組織論 (月1) 長谷川 敏栄	15	現在、私が理事をしているNPO法人まちづくり学校、NPO aisa等の組織を中心に、非営利組織としての特定非営利活動法人(NPO法人)と非営利団体の活動を学ぶ。また、特定非営利活動促進法にもとづくNPO法人の基礎知識を学び、非営利団体の現場を訪問したり、非営利組織の立ち上げ実習も行いう。講義の中では、その内容に基づいて講義ののち、演習として課題を提出しレポートとしてまとめてもらう。それをグループ間あるいは、全員で発表してもらい、講義の内容、演習成果を共有する。	知っておきたいNPOのこと(日本NPOセンター編集発行)まちをつくるひとをつくる machidas マチダス(NPO法人 まちづくり学校 発行)※講義が始まってから、講師が販売します。
59	越佐文化論 (月3) 三井田 忠明	15	新潟県内を主なフィールドとし、そこで消長してきた様々なモノ(物質文化)と心(精神文化)を取り上げ、それを民俗学的な視点から概観する。その作業の中から地域の文化的個性や暮らしの変容などを把握する。	授業時にプリントを配付する。
60	文化産業論 (火1) 黒川 敬三	15	前半はD.スロスビーの理論を基礎として、「文化産業」の定義とその周辺産業、またそれらに従事する「労働者」などについて論じる。後半はT.コーエンの著作を参照しながら、文化交易の功罪や、ハイカルチャーとポピュラーカルチャーにおける消費者と批評家の役割などについて論じる。受講者には積極的に発言することを求める。	【参考図書】デイヴィッド・スロスビー『文化経済学入門』日本経済新聞出版2,800円、タイラー・コーエン『創造的破壊 グローバル文化産業とコンテンツ産業』作品社2,400円
61	グリーンツーリズム演習 (火2) 池井 豊	15	グリーンツーリズムは農村地域において自然・文化・くらしを体験し、その地域の人々との交流を楽しむ活動である。その基本的な意味や仕組みを学ぶ。また、実習としてグリーンツーリズムの現場に行きプログラム体験や事業サポートや現場の声の聴き取りなども行う。モデル地域を設定しプログラム作りも実習する。またフィールドワークを行う。土・日どちらか1回目「プログラム体験」9:00~12:00で、2回目「事業サポート」9:00~17:00行う。参加が必須です。	【テキスト】【農学基礎セミナー】グリーンライフ入門 農山漁村文化協会 1,800
62	コンテンツ産業論 (水2) 権田 恭子	15	今日のメディアの急速な発達、情報のデジタル化に伴い、今後益々注目されるであろう日本のコンテンツ産業について概観し、コンテンツ産業各業界の特性や今日抱える課題について理解を深めていく。その際、ビジネスの実際の把握にとどまらず、その背景にある文化的側面にも注目し、受講者自身がこれらの産業を消費、醸成していく主体であることを自覚しながら、コンテンツビジネスの今後の可能性と課題について考察を加えていく。コンテンツ制作の経験を活かした授業を展開する。	授業中に適宜指示する。
63	アグリビジネス論 (水3) 金 光林	15	前近代の社会では「農者天下之本」と言われ、農業が産業のすべての根幹として位置づけられていた。現代では、自然環境との共生という考え方から農業が再び注目され、ロボット・ドローンやICT(情報通信技術)を活用したスマート農業によって、農業に魅力を感じ、就農する若者が世界中で増えている。この授業では、日本の農業に焦点を当て、農産品をどんな働き方で作り、どのように流通し、どのように農家と農協や農水省・政府がかかわりを持つのか、そして田や畑はどのように維持しているのか、などの農業の基本について学ぶ。	テキスト：板垣啓四郎監修『農家と農業～お米と野菜の秘密』(実業之日本社2015年)800円 参考書：八木宏典監修『史上最強カラー図解 プロが教える農業のすべてがわかる本』(株式会社ナツメ社2010年)1,500円

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
64	博物館展示論 (代: 片岡) (木1) 三井田 忠明	15	博物館や美術館は国や地方の文化活動の拠点としての意味をもっている。この科目では博物館や美術館における展示の意義や歴史、展示のための施設や機器とその使用法について理解を深めるとともに、実際の事例を教材としながら展示のあり方について考える。*1~8回は三井田、9~15回は片岡が担当。*授業時間外に博物館・美術館等の見学をおこなう場合もある。	テキスト:各教員が説明します。参考文献:(いずれも産大図書館にあり)①日本展示学会編『展示論 博物館の展示をつくる』(雄山閣、2010年) ②佐々木利和ほか『博物館展示論』(放送大学 教育振興会、2012年) ③青木豊編『人文系博物館展示論』(雄山閣、2013年) ④黒沢浩編著『博物館展示論』(講談社、2014年)※どれか1冊を購入するなら①をすすめる(2,860円)。
65	文化経済学Ⅲ (木3) 梅澤 精	15	この講義は文化経済学の歴史を学び、どのような社会状況や問題意識のもとで現在の文化経済学が形成されてきたのか、理解を深める。	テキスト:なし 参考文献:A・スミス『哲学・技術・想像力』勁草書房、伊藤邦武『経済学の哲学』中公新書、中矢俊博『ケインズとケンブリッジ芸術劇場』同文館出版、ポウモル&ポウエン『舞台芸術』芸団協出版部、D・スロスビー『文化経済学入門』日本経済新聞社
66	観光資源論 (木4) 春日 俊雄	15	近年の観光を取り巻く状況の変化に伴う観光行政の推進と施策の方向性について概説したうえで、新潟県の美しい自然や豊富な温泉、特色ある地域文化や歴史遺産など、多様な自然的資源や文化的資源に関する特性について学習するとともに、観光資源の有効的な活用による観光振興のあり方について考察する。この講義は「実務経験を活かした講義」及び「アクティブラーニングを取り入れた講義」である。	必要に応じてプリント資料を配布する。
67	食文化論 (金1) 梅比良 眞史	15	「和食」に欠かせない米作の起源をたどり、なぜ「主食」となったかを解き明かし、そのことが日本料理にどのような影響を与えたかを考える。また、米について古代から中世、近代を経て現代まで、歴史・農学・文化という重層的視点で検証する。授業時にテーマについて毎回コメントを書いて提出してもらう。	【テキスト】佐藤 洋一郎『米の日本史一稲作伝来、軍事物資から和食文化まで』中公新書 980(本体)
68	博物館経営論 (金1) 三井田 忠明	15	博物館の管理運営の方向は、館の設置目的や性格によって異なるが、事業を行う際には教育的配慮のもと、社会教育機関として適切に運営せねばならない。しかし、効率性や経済性と無関係ではありえず、その傾向は今日より強く求められる。こうした点をふまえ、多様な博物館活動をミュージアム・マネージメントの立場から見ていく。	授業時に資料を配付します。
69	文化経済学Ⅱ (金2) 梅澤 精	15	この授業では、昨年度の文化経済学Ⅰの続きを講義する。	テキスト:なし 参考文献:池上惇他編『文化経済学』有斐閣ブックス、金武・阪本著『文化経済論』ミネルヴァ書房、池上・山田編『文化経済学を学ぶ人のために』世界思想社 その他、講義において適宜指示。

<1限 9:15~10:45、2限 10:55~12:25、3限 13:15~14:45、4限 14:55~16:25、5限 16:30~18:00 >

No.	講座名 (曜日時限) 講師	回数	講座内容	テキスト・その他
70	基礎文化論 (金3) 小林 健彦	15	この講義では、日本文化の基礎を学ぶ。具体的には、日本語の経緯と「日本学」の原型である「有職故実(ゆうそくこじつ)」を素材としていく。	テキスト：小林健彦著『日本語と日本文化基層論～人名、人格化、そして、うわさの文化～』（電子書籍製本版、データ版）を使用する（購入方法は授業中に指示する）。「日本文化論」との共通テキストである。その他、プリントを配布する。参考書：講義において適宜指示する。

2022年度 学事日程(春学期)

授業日
 補講日

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土
4 月						1	2	6 月				1	2	3	4
	3	4	5	6	7	8	9		5	6	7	8	9	10	11
	10	11	12	13	14	15	16		12	13	14	15	16	17	18
	14	18	19	20	21	22	23		19	20	21	22	23	24	25
	24	25	26	27	28	29	30		26	27	28	29	30		
5 月	1	2	3	4	5	6	7	7 月						1	2
	8	9	10	11	12	13	14		3	4	5	6	7	8	9
	15	16	17	18	19	20	21		10	11	12	13	14	15	16
	22	23	24	25	26	27	28		17	18	19	20	21	22	23
	29	30	31						24	25	26	27	28	29	30
								31							

【授業時間】

1限	9 : 15 ~ 10 : 45
2限	10 : 55 ~ 12 : 25
3限	13 : 15 ~ 14 : 45
4限	14 : 55 ~ 16 : 25
5限	16 : 30 ~ 18 : 00



令和4(2022)年度 新潟産業大学 特別講座のご案内

本学学生と一緒に**聴講**してみませんか。

令和4(2022)年度春学期の「東洋史」授業が一般財団法人ユーラシア財団 from Asiaの助成事業として開講されます。日本国内外から多彩な講師を迎え、東アジアの歴史・文明・自然・環境について幅広く学ぶことができます。

講座の詳細

講座名	東洋史(ユーラシア共同体のための東アジアの歴史・文明・自然・環境への理解)		
講座実施期間	2022年4月11日～2022年8月1日	講座実施曜日/時間	月曜日/14:55～16:25
受講対象学生数等	100名	受講対象学年等	全学年・聴講生等

※講座コーディネーター：新潟産業大学 金光林教授

講座の実施日	講座テーマ	講師名・役職	講師所属機関名
第1回 4月11日	東アジア文明の特徴、東アジアにおける民族と国家	金光林教授	新潟産業大学
第2回 4月18日	新しい共同体に向かってーその必要性と意味ー	鄭俊坤首席研究員	ユーラシア財団 from Asia
第3回 4月25日	ユーラシア大陸の自然環境	沼岡努名誉教授	新潟産業大学
第4回 5月2日	東アジアの文明と宗教	金勲教授	北京大学
第5回 5月9日	アジアにおける仏教美術の地域的特色	片岡直樹教授	新潟産業大学
第6回 5月16日	ユーラシア大陸の東西の枢軸としての中央アジア	キムゲルマン教授	アルファラビカザフスタン国立大学
第7回 5月23日	近現代におけるモンゴル世界の多様化	ボルジギン ブレンサイン教授	滋賀県立大学
第8回 5月30日	ベトナムの文字ーチュノム(字喃)の世界	佐藤トイウェン	元関西大学講師
第9回 6月6日	東アジアにおける日本と中国大陸・朝鮮半島の交流	小林健彦教授	新潟産業大学
第10回 6月13日	東アジアの発見ー近代の東アジアは如何に形成されたのか	宋念申教授	清華大学
第11回 6月20日	東アジアにおける多元文化の共生	李修京教授	東京学芸大学
第12回 6月27日	建築設計から見る東アジアの建築と文化	許勢永建築士	(株)JPM
第13回 7月4日	東アジアにおける持続可能な発展と環境問題	朱永浩教授	福島大学
第14回 7月11日	現代の東アジアにおける人の移動ーシベリアの北朝鮮労働者を中心にー	李エリア客員教授	早稲田大学
第15回 7月25日	真理の探求	佐藤洋治理事長	ユーラシア財団 from Asia
第16回 8月1日	東アジアにおける「人的・文化的交流」の現状と課題	権寧俊教授	新潟県立大学

※聴講講座の申込みについては、「2022年度 新潟産業大学春期(聴講講座)のご案内」をご覧ください。

お問い合わせ先:新潟産業大学教務課/地域連携センター
Tel:0257-24-8441 e-mail: kyoumu@ada.nsu.ac.jp